2025年度（令和7年度）入学生

IT総合学科シラバス

学校法人南星学園サイ・テク・カレッジ美浜

2025年度（令和7年度）
IT総合学科教育課程一覧表

科目No	科目名	科目（英語）	科目区分	授業形態	対象学年	前期・後期	週の講義数/集中講義数	履修時間	単位
IT001	Office演習Ⅰ	Microsoft Office Training Ⅰ	専門基礎	実技	1	前期	3	51	1
IT002	ビジネスマナーⅠ	Business Manners Ⅰ	一般教養	講義	1	前期	2	34	2
IT003	Illustrator	illustrator	専門	実習	1	前期	4	68	2
IT004	HTMLコーディングⅠ	HTML Coding Ⅰ	専門	実習	1	前期	4	68	2
IT005	JavaScriptⅠ	JavaScriptⅠ	専門	実習	1	前期	3	51	1
IT006	Unity C#Ⅰ	unity C#Ⅰ	専門	実習	1	前期	2	34	1
IT007	ITパスポートⅠ	IT PassportⅠ	専門	演習	1	前期	3	51	3
IT008	基本情報処理技術者Ⅰ	Fundamental Information Technology Engineer Ⅰ	専門	演習	1	通年	4	136	9
IT009	LinuxⅠ	LinuxⅠ	専門	実習	1	前期	2	34	1
IT010	Office演習Ⅱ	Microsoft Office Training Ⅱ	専門基礎	実習	1	後期	3	51	1
IT011	ビジネスマナーⅡ	Business Manners Ⅱ	一般教養	講義	1	後期	2	34	2
IT012	Photoshop	Photoshop	専門	実習	1	後期	4	68	2
IT013	HTMLコーディングⅡ	HTML Coding Ⅱ	専門	実習	1	後期	4	68	2
IT014	JavaScriptⅡ	JavaScriptⅡ	専門	実習	1	後期	3	51	1
IT015	Unity C#Ⅱ	unityC#Ⅱ	専門	実習	1	後期	2	34	1
IT016	ITパスポートⅡ	IT Passport Ⅱ	専門	演習	1	後期	3	51	3
IT017	LinuxⅡ	LinuxⅡ	専門	実習	1	後期	2	34	1
IT018	キャリアデザインⅠ	Career Design Ⅰ	一般教養	講義	2	前期	3	51	3
IT019	ポートフォリオⅠ	Portfolio Creation Ⅰ	専門	実習	2	前期	2	34	1
IT020	ネットワーク技術	Introduction to Network Technology	専門	講義	2	前期	3	51	3
IT021	ネットマーケティング	Internet Marketing	専門	講義	2	前期	2	34	2
IT022	AI開発	AI Development	専門	実習	2	前期	3	51	1
IT023	Webアプリ開発Ⅰ	Web Application Development Ⅰ	専門	実習	2	前期	3	51	1
IT024	基本情報処理技術者Ⅱ	Fundamental Information Technology Engineer Ⅱ	専門	演習	2	前期	3	51	3
IT025	JavaⅠ	JavaⅠ	専門	実習	2	前期	3	51	1
IT026	プレゼンテーション演習Ⅰ	Presentation Practice Ⅰ	専門基礎	実習	2	前期	3	51	1
IT027	キャリアデザインⅡ	Career Design Ⅱ	一般教養	講義	2	後期	3	51	3
IT028	ポートフォリオⅡ	Portfolio Creation Ⅱ	専門	実習	2	後期	2	34	1
IT029	知的財産管理	Intellectual Property Management	一般教養	講義	2	後期	2	34	2
IT030	AI活用	Utilizing AI	専門	実習	2	後期	3	51	1
IT031	Webアプリ開発Ⅱ	Web Application Development Ⅱ	専門	実習	2	後期	3	51	1
IT032	プロジェクトマネジメント	Project Management Techniques	専門	講義	2	後期	2	34	2
IT033	IOT	IOT	専門	講義	2	後期	2	34	2
IT034	JavaⅡ	JavaⅡ	専門	実習	2	後期	3	51	1
IT035	プレゼンテーション演習Ⅱ	Presentation Practice Ⅱ	専門基礎	実習	2	後期	3	51	1
IT036	卒業研究	Capstone Project	専門基礎	実習	2	後期	2	34	1
IT037	Figma	Figma	専門	実習	2	前期	2	34	1
IT038	AfterEffect	AfterEffect	専門	実習	2	後期	2	34	1

【科目コード：IT001】

科 目 名	Office 演習Ⅰ				
対象学年	1	科目区分	専門基礎	授業形態	実技
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

Word の基本操作・機能を理解し、操作だけではなく Word に関する知識の習得も併せて行う。ビジネスシーンで使用する資料を効率的に制作する為に必要な知識・技能の習得を目指す。Word 文書処理技能認定試験 2 級の取得を目指す。

【授業の展開計画】

第1～2回　タイピングの基礎及び Word の基本機能
第3～4回　Word の機能
第5～6回　ビジネス文書作成の基礎
第7～8回　ビジネス文書作成
第9～11回　Word の機能を利用した資料作成
第12回　2級問題対策
第13～15回　1級問題対策
第16回　Word 文書処理技能認定試験
第 17 回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｗｏｒｄ2021 基礎―Ｏｆｆｉｃｅ2021／Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ365 対応
Word 文書処理技能認定試験 1・2 級問題集（2021 対応）

【参考文献・その他】

【科目コード：IT002】

科 目 名	ビジネスマナーⅠ				
対象学年	1	科目区分	一般教養	授業形態	講義
開講学期	前期	履修時間	34	単 位 数	2
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

職場などにおける基本的なビジネスマナー及びコミュニケーション能力の習得を目指す。（傾聴力・話す力・敬語・挨拶　等）コミュニケーション検定初級の取得を目標とする。

【授業の展開計画】

第1回　コミュニケーションの大切さ
第2回　傾聴力
第3回　話す力
第4回　挨拶の種類
第5回　ビジネスにおける言葉遣い
第6回　敬語の種類
第7回　電話応対
第8回　来客応対
第9回　アポイントメントの取り方
第10回　ビジネス文書の種類
第11回　メールの対応
第12～13回　入退出時のマナー
第14～15回　その他のビジネスマナー
第16回コミュニケーション検定
第 17 回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

コミュニケーション検定　初級　公式ガイドブック＆問題集

【参考文献・その他】

【科目コード：IT003】

科 目 名	Illustrator				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	68	単 位 数	2
担当講師	末續河南衣		実務経験	グラフィックデザイナー	

【授業のねらい】

Illustrator 基本操作・デザインのセオリー、基本原則を知ることができ色、配色・イアウトデザインや色々な書き出しデータの特徴を学習し、重要性、大切さを知ることができる。作品の目的や意図を明確しオリジナル作品の制作を目指す。

【授業の展開計画】

第 1 回　① デザインについて　② Adobe ダウンロード初期設定
第 2 回　① Illustrator の基本操作　② オブジェクトの基本操作
第 3 回　① カラー設定の基本操作　② オブジェクト編集の基本操作
第 4 回　① 文字編集に基本操作
第 5 回　① タイポグラフィを意識したバナー制作
　　② 課題制作（タイポグラフィを意識したバナー）
第 6 回　① パスの基本操作
第 7 回　① 基本操作復習　② 課題（内容未定）
第 8 回　① オブジェクトの応用操作
第 9 回　① レイアウトの補助機能　② カラー設定の応用操作
第 10 回　① レイヤーの応用操作
第 11 回　① 文字編集の応用操作　② パスの応用操作
第 12 回　① イラストレーション　② 課題（内容未定）
第 13 回　① 画像トレースを使用したイラストレーション
第 14 回　① ロゴデザイン
第 15 回　① Web デザイン　② 写真を配置した DM 第 16 回　9 月 10 日　③ 課題（内容未定）
第 16 回　学期末テスト
第 17 回　① グラフを作成する　② 印刷原稿の作成　③ 見開きパンフレットのデザイン

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Illustrator®クイックマスターWindows&Mac

【参考文献・その他】

【科目コード：IT004】

科 目 名	HTML コーディングⅠ				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	68	単 位 数	2
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

ホームページ作成で必要となる、HTML・CSS のファイル制作の基礎を学び
コーディング技術の基礎を、みにつける。

【授業の展開計画】

第1～第3回　HTML5の基礎知識・CSS3の基礎知識
第4～第5回　Web サイトの構築
第6～第8回　トップページの作成
第9～第10回　サブページ作成・リンクの設定・Web ページの動作検証
第11～第12回　表を挿入した Web ページの作成、サイドメニューのある Web ページの作成
第13回　動画やマップを挿入した Web ページの作成
第14回　フォームを利用した Web ページの作成
第15回～第16回　過去問題
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

1 冊ですべて身につくＨＴＭＬ＆ＣＳＳとＷｅｂデザイン入門講座

【参考文献・その他】

【科目コード：IT005】

科 目 名	JavaScript I				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

プログラミングの基本を知り自ら考えてコードを書けるようになる事を目指します。

【授業の展開計画】

第1～2回　開講オリエンテーション・AI エディタの使い方と学習環境の整備
第3～6回　条件分岐、繰り返し、関数、配列などの基本文法を AI エディタで実践
第7～8回　HTML/CSS との連携、DOM の基本操作
第9～10回　配列とオブジェクトを使ったデータの扱い
第11～12回　フォトギャラリー作成（基本構造、画像表示）
第13～14回　jQuery/簡単な Web API の活用と動画ギャラリー制作
第15～16回　自学スキル習得のための AI 活用トレーニング
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT006】

科 目 名	Unity C# I				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

Unity を使用したアプリ作成を行うために必要なオブジェクト指向プログラミング C＃を理解し、Unity のツールや C＃プログラミングでのオブジェクト操作を学ぶ。

【授業の展開計画】

第1～8回　　C# プログラミング基礎
第9回　　Unity のインストール、ツールの基礎
第10回　　C#でのオブジェクト操作
第11回～13回　テキストを使ったゲームの作成
第14回～17回　ゲームの自主作成、提出

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Unity の教科書 Unity 2023 完全対応版

【参考文献・その他】

【科目コード：IT007】

科 目 名	ITパスポートⅠ				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	演習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

ITパスポートの資格取得のため、ITの基礎知識（ハード、ソフト、ネットワーク、セキュリティ分野）について理解を深める。

【授業の展開計画】

第1回コンピュータ基礎
第2回～3回　　ハードウェア関連
第4回～5回　　ソフトウェア関連
第6回～7回　　データベース関連
第8回～10回　　ネットワーク関連
第11回～13回　　セキュリティ関連
第14回～16回　　システム開発関連
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が2／3以下の者は不可とする。また遅刻3回で欠課1回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40点満点）と試験点数（60点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

情報処理技術者試験キタミ式イラストＩＴ塾ＩＴパスポート〈令和07年〉

【参考文献・その他】

【科目コード：IT008】

科 目 名	基本情報処理技術者Ⅰ				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	演習
開講学期	通年	履修時間	136	単 位 数	9
担当講師	翁長　武浩		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

国家資格の IT 技術者の基本知識と試験対策の基礎知識の INPUT 学習を重点的に学ぶ

【授業の展開計画】

第1回　コンピュータ構成要素
第2回　システム構成要素・ソフトウェア
第3回　基数記数法・数学的手法・その他理論
第4回　マルチメディア・データベース
第5回　ネットワーク
第6回　情報セキュリティ
第7回　アルゴリズム・オブジェクト指向・プログラミング
第8回　システム開発
第9回　企業・経営ツール
第10回　財務と会計・法務・ソリューションビジネス
第11回　プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント・ファシリティマネジメント
第12回　学期末テスト（前期）
第13～14回　コンピュータ構成要素
第15～16回　ソフトウェアとマルチメディア
第17～18回　基礎理論
第19～20回　アルゴリズムとプログラミング
第21～22回　システム構成要素
第23～24回　ネットワーク技術
第25～26回　情報セキュリティ
第27～28回　システム開発技術
第29～30回　マネジメント系
第31～32回　ストラテジ系
第33回　模擬テスト
第34回　学期末テスト（後期）

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

情報処理教科書 出るとこだけ！基本情報技術者 テキスト＆問題集 ［科目 A］［科目 B］2025 年版

【参考文献・その他】

【科目コード：IT009】

科 目 名	Linux I				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	臼坂忠雄		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

企業で、Web サーバーなどの OS として広く利用されている、Linux OS を学ぶ

【授業の展開計画】

第1回　Linux とは
第2回　仮想マシン(Virtual BOX)、Ubuntu インストール
第3回　コマンド操作1
第4回　コマンド操作2
第5回　コマンド操作3
第6回　ディレクトリ、ファイル、所有者
第7回　シェル、シェルスクリプト
第8回　ユーザ管理、パッケージ管理(apt)
第9回　プロセスとジョブ
第10回　Web サーバー（Apache)
第11回　FTP サーバー
第12回　SSH
第13回　プロセスとシステム管理
第14回　セキュリティー
第15回　演習
第16回　演習
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Linux をマスターしたい人のための実践 Ubuntu

【参考文献・その他】

【科目コード：IT010】

科 目 名	Office 演習 II				
対象学年	1	科目区分	専門基礎	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

EXCEL の基本操作・機能を理解し、操作だけではなく EXCEL に関する知識の習得も併せて行う。表計算・グラフ・ピポッドなどを使用しより効果的に資料を制作する為に必要な知識・技能の習得を目指す。EXCEL 表計算処理技能認定試験 2 級の取得を目指す。

【授業の展開計画】

第1～2回　EXCEL の基本操作
第3～4回　基本関数
第5～6回　表の作成
第7～8回　グラフ作成
第9回　　EXCEL の便利機能
第10～12回　2級問題対策
第13～15回　1級問題対策
第16回　EXCEL 表計算処理技能認定試験
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

よくわかるＭｉｃｒｏｓｏｆｔ　Excel2021 基礎ーＯｆｆｉｃｅ2021／Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ 365 対応
EXCEL 表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集（2021 対応）

【参考文献・その他】

【科目コード：IT011】

科 目 名	ビジネスマナーⅡ				
対象学年	1	科目区分	一般教養	授業形態	講義
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	2
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

社会人基礎力 3 項目 12 要素に基づいて、個人ワーク・グループワークを通じ、社会人として必要なビジネスマナーを身に付けるとともに、問題解決能力を養う。

【授業の展開計画】

第1回　社会人基礎力とは
第2～3回　前に踏み出す力（主体性・働きかけ力・実行力）
第4～5回　主体性・働きかけ力・実行力についてグループワーク
第6～7回　考え抜く力（課題発見力・計画力・創造力）
第8～9回　課題発見力・計画力・創造力についてグループワーク
第10回　チームで働く力（発信力・傾聴力）
第11回　発信力・傾聴力についてのグループワーク
第12回　チームで働く力（柔軟性・状況把握能力・規律性）
第13回　柔軟性・状況把握能力・規律性についてグループワーク
第14回　ストレス発生源に対する力（アンガーマネジメント）
第15～16回　グループワーク（ビジネスシーンで考えられる問題解決策）
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

オリジナルテキスト

【参考文献・その他】

【科目コード：IT012】

科 目 名	Photoshop				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	68	単 位 数	2
担当講師	末續河南衣		実務経験		

【授業のねらい】

Photoshop の基本操作・デザインのセオリー、基本原則を知ることができ色、配色・イアウトデザインや色々な書き出しデータの特徴を学習し、重要性、大切さを知ることができる。作品の目的や意図を明確しオリジナル作品の制作を目指す。

【授業の展開計画】

第1回～2回　① Photoshop の基本操作・ダウンロード初期設定　② 環境設定、課題（内容未定）

第3回　① 選択範囲の作成

第4回　① 画像移動と変形

第5回　① カラーモードと色調補正　② 課題（内容未定）

第6回　① ペイント

第7回　① レイヤー操作

第8回　① パスとシェイプ

第9回　① テキスト　② 課題（内容未定）

第10回　① フィルター

第11回　① 画像の入出力

第12回　① フォトレタッチ　② 課題（内容未定）

第13回　① ロゴデザイン

第14回　① カード＆ステーショナリー

第15回　① フォトコラージュ

第16回　① Web サイトのデザイン

第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Photoshop®クイックマスターWindows&Mac

【参考文献・その他】

【科目コード：IT013】

科 目 名	HTML コーディングⅡ				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	68	単 位 数	2
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

HTML コーディングⅠで学習した、基礎を実践形式で応用に活かす。

サイトの基本コーディング・サーバーへのアップロードなどを行う。

【授業の展開計画】

第1～7回　　トップページ制作・CSS ファイル制作（課題）

第8～12回　サブページ制作・CSS 制作（課題）

第13～15回　リンク設定・動作確認

第16回　サーバーアップロード

第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

1 冊ですべて身につくＨＴＭＬ＆ＣＳＳとＷｅｂデザイン入門講座

【参考文献・その他】

【科目コード：IT014】

科 目 名	JavaScript II				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

前期で習得したプログラミングスキルを活かして独自アプリケーションを制作できる基本を学びます。

【授業の展開計画】

第1～2回　チーム編成とアプリケーションの方向性決定（ブレスト）

第3～8回　アプリケーション設計・開発（フロントロジック中心）

第9～12回　デバッグ、AI によるトラブルシューティング支援、ツール活用法

第13～14回　開発仕上げと改善案の検討

第15～16回　成果物発表・レビュー

第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT015】

科 目 名	Unity C# II				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

Unity を使い本格的な 2D、3D アプリ作成について理解を深め、講義後半では自作アプリ開発をする。

【授業の展開計画】

第1～3回　Unity ツールの応用と C# での操作。

第4～10回　テキストを使ったデモアプリの作成。

第11～16回　自作アプリの開発計画の考案と作成。

第17　自作アプリの提出。作品発表。

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Unity の教科書 Unity 2023 完全対応版

【参考文献・その他】

【科目コード：IT016】

科 目 名	ITパスポートII				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	演習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

IT パスポートの資格取得のための基礎知識（ストラテジー系、マネジメント系、）について理解を深める。

【授業の展開計画】

第1～2回　システム周りの各種マネジメント
第3～5回　プログラム関連
第6～8回　システム構成と故障対策
第9～11回　企業活動と関連法規
第12～13回　経営戦略の為の業務改善と分析方法
第14～16回　財務会計
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

情報処理技術者試験キタミ式イラストＩＴ塾ＩＴパスポート〈令和 07 年〉

【参考文献・その他】

【科目コード：IT017】

科 目 名	Linux II				
対象学年	1	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	臼坂忠雄		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

Linux OS の詳細を学ぶ

【授業の展開計画】

第1回　Linux システム、ハード、メモリ、カーネル、ユーザ空間
第2回　基本コマンドとディレクトリ構成
第3回　各種デバイスとマウント
第4回　ディスクとファイルシステム
第5回　カーネル起動の仕組み
第6回　ユーザ空間開始の仕組み
第7回　システム設定詳細
第8回　プロセスと資源利用の詳細
第9回　ネットワークとその設定
第10回　ネットワークのアプリケーションとサービス
第11回　シェルスクリプトの概要
第12回　ファイル転送と共有
第13回　ユーザ環境
第14回　Linux デスクトップ、開発ツール
第15回　仮想化技術
第16回　演習
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

動かしながらゼロから学ぶ Linux カーネルの教科書

【参考文献・その他】

【科目コード：IT018】

科 目 名	キャリアデザインⅠ				
対象学年	2	科目区分	一般教養	授業形態	講義
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	3
担当講師	高橋 由美子		実務経験		

【授業のねらい】

自己理解を通して自分の強み・弱みを発見し、仕事理解をすることで職業についての理解を深め、自分の「やりたい仕事」を具現化する。また、自己 PR ができる履歴書やエントリーシートの書き方を学び、就職活動に自ら積極的に取り組もうとする姿勢を培う。

【授業の展開計画】

第1回　　ジョブカードの必要性
第2～3回　「あなたにとって働くとは」の作文
第4～5回　ジョブカード（様式1-2）キャリア・プランシートの作成
第6回　　キャリア・プラン作成補助シートの活用
第7回　　キャリア面談（2年次に年3回実施）1回目（5月）
第8回　　仕事理解（職種・業界研究）
第9回　　応募書類の作成　エントリーシートの書き方・履歴書の書き方
第10回　　応募書類のチェックと修正等
第11回　　面接対策（1）　マナーの復習（インターンシップ前の準備にも対応）
第12回　　質問想定事例集
第14回　　面接対策（2）　入退室のマナー
第15～16回 模擬面接の準備
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

オリジナルテキスト

【参考文献・その他】

【科目コード：IT019】

科 目 名	ポートフォリオⅠ				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	末續河南衣		実務経験	グラフィックデザイナー	

【授業のねらい】

ポートフォリオの重要性をしっかりと理解することができ、1 年生の学びを活かし、自分なりのオリジナル作品の重要性、大切さを知ることができる。

【授業の展開計画】

第1回　① 1年生の課題、作品の整理　② キャリアデザインとポートフォリオ
第2回　① いいポートフォリオの作り方01　② 課題制作（インフォグラフィックス）
第3回　① いいポートフォリオの作り方02　② ポートフォリオの実例01　③ あなたのポートフォリオを作る
第4回　① 表紙・コンセプト・PR 制作　② ポートフォリオの実例02
第5回　① 表紙・コンセプト・PR 制作　② ポートフォリオの実例03
第6回　① 表紙・コンセプト・PR 制作　② ポートフォリオの実例04　③ 課題制作（インフォグラフィックス）
第7回　① 見出し・キャプション　② 課題（内容未定）　③ ポートフォリオの実例05
第8回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例06
第9回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例07
第10回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例08
第11回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例09
第12回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例10
第13回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例11
第14回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例12
第15回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例13
第16回　学期末テスト
第17回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例14

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

採用担当者の心に響くポートフォリオアイデア帳

【参考文献・その他】

【科目コード：IT020】

科 目 名	ネットワーク技術				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	講義
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	3
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

ネットワークの基礎を理解し VPN を活用し、安全に接続するための技術や知識を身に付ける

【授業の展開計画】

第1回　ネットワークとは
第2～5回　ネットワークの基礎知識
第6～8回　ポート関連・イーサネット関連・LAN スイッチ関連
第9～10回　IP 関連・認証と暗号化技術・無線 LAN 関連
第11回　冗長化技術・管理関連
第12回　インターネットとの接続・サブネット・CIDR
第13回　ルーティングの種類と経路の決定・VPN
第14回　ルーターの設定
第15回　LAN スイッチの設定
第16回　無線 LAN アクセスポイントの設定
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ネットワーク入門・構築の教科書

【参考文献・その他】

【科目コード：IT021】

科 目 名	ネットマーケティング				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	講義
開講学期	前期	履修時間	34	単 位 数	2
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

インターネットマーケティングに関する、知識・手法・理論を学習する

【授業の展開計画】

第1～2回　インターネットマーケティングにおける基礎理論
第3回　インターネットマーケティングの個別手法
第4～5回　インターネットリサーチ・プロモーション
第6回　インターネット広告
第7回　インターネットを利用した販売
第8～9回　効果測定・外注管理
第10回　各種ポリシー
第11～12回　関連法規
第13回　インターネットとコンプライアンス、CSR
第14回　インターネット技術論
第15～16回　過去問題演習
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ネットマーケティング検定　公式テキスト

【参考文献・その他】

【科目コード：IT022】

科 目 名	AI 開発				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

機械学習で使用されるプログラミング言語 Python の基礎を学びます。

【授業の展開計画】

第1～2回　Python を学ぶ準備をしよう、コマンドプロンプトに慣れよう

第3～5回　基礎を学びながらプログラムを作成しよう、繰り返しと条件分岐を学ぼう

第6～8回　辞書とファイルの扱いを学ぼう、会話 bot を作ろう

第9～11回　ライブラリを使いこなそう、サードパーティ製パッケージを使いこなそう

第12～16回　Web アプリケーションを作成しよう、さらに知識を身に付けるための学び方

第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT023】

科 目 名	Web アプリ開発Ⅰ				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

1 年次に学んだ JavaScript をより高度に理解するために、Web アプリケーションの開発に取り組みます。成果物は卒業研究としてポートフォリオに加えられるようにします。

【授業の展開計画】

第1～第2回　　ブレインストーミング、方針確認、チーム編成
第3～第14回　　開発
第15～第16回　　成果物発表
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT024】

科 目 名	基本情報処理技術者Ⅱ				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	演習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	3
担当講師	翁長　武浩		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

国家資格の IT 技術者の基本知識と試験対策の基礎知識の INPUT 学習を重点的に学ぶ

【授業の展開計画】

第1回　模擬テスト1
第2回　コンピュータ構成要素
第3回　システム構成要素・ソフトウェア
第4回　基数記数法・数学的手法・その他理論
第5回　マルチメディア・データベース
第6回　ネットワーク
第7回　情報セキュリティ
第8回　アルゴリズム・オブジェクト指向・プログラミング
第9回　システム開発
第10回　企業・経営ツール
第11回　財務と会計・法務・ソリューションビジネス
第12回　プロジェクトマネジメント・サービスマネジメント・ファシリティマネジメント
第13回　模擬テスト2
第14回　模擬テスト3
第15回　模擬テスト4
第16回　模擬テスト5
第17回　学期末テスト（前期）

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

令和 7 年　基本情報技術者　過去問題集かんたん合格

【参考文献・その他】

【科目コード：IT025】

科 目 名	Java I				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	臼坂忠雄		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

中、大企業などの、業務システム開発言語として、成功している、Java 言語、JavaWeb の基本を学ぶ

【授業の展開計画】

第1回　クラスの作り方、インスタンスの作り方
第2回　クラスの仕組み、インスタンスと参照
第3回　オブジェクトモデリング
第4回　継承
第5回　ポリモーフィズム
第6回　インターフェース
第7回　例外処理
第8回　ファイル、ディレクトリ操作、ファイル入出力
第9回　コレクションとリスト、Set、Map
第10回　日付、時刻、列挙型
第11回　マルチスレッド
第12回　Java の Web 環境、インストール（Tomcat）
第13回　サーブレット、JSP、データベース接続(MySQL)
第14回　掲示板システム開発1
第15回　掲示板システム開発2
第16回　掲示板システム開発3
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

Java オブジェクト指向徹底解説、　基礎からのサーブレット/ JSP

【参考文献・その他】

【科目コード：IT026】

科 目 名	プレゼンテーション演習Ⅰ				
対象学年	2	科目区分	専門基礎	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

PowerPoint の基本操作や機能を学習し、効果的なプレゼンテーション手法についての知識とスキルを習得する。

【授業の展開計画】

第1回　　プレゼンテーションとは
第2回　　PowerPoint の基本操作
第3～4回　　スライド作成の基本
第5～6回　　スライドの表現力を上げる
第7～8回　　画像・図をスライドに挿入する
第9回　　表を作成する
第10回　　グラフを作成する
第11～12回　　作図機能を使いこなす
第13回　　アニメーションの設定
第14～15回　　プレゼンテーションの実行と資料作成
第16回　　PowerPoint の便利なその他の機能
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ2021　やさしい教科書　Ｏｆｆｉｃｅ2021／Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ365 対応

【参考文献・その他】

【科目コード：IT027】

科 目 名	キャリアデザインⅡ				
対象学年	2	科目区分	一般教養	授業形態	講義
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	3
担当講師	高橋 由美子		実務経験		

【授業のねらい】

就職活動の面接試験において、的確に自己アピールできているかを再確認する。得意・苦手を把握し、効率的に面接対策が進められるよう面接力アップを図る。卒業後、ビジネスパーソンの一員として主体的に行動していく意欲を身につける。

【授業の展開計画】

第1回　キャリア面談（2年次に年3回実施）2回目（10月）
　　入退室マナーの練習（個人）
第2回　模擬面接の練習
第3回　ロールプレイ（ペアワーク）
第4回　オンライン面接対策
第5回　ビジネスメール
第6回　ビジネス文書
第7回　キャリア面談（2年次に年3回実施）3回目（1月）
　　模擬面接の練習（個人）
第8回　応募書類のチェックと修正等
第9回　新社会人としての心構え
第10～第13回　社会生活への準備
第14～第16回　就職活動フォロー面談
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

オリジナルテキスト

【参考文献・その他】

【科目コード：IT028】

科 目 名	ポートフォリオⅡ				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	末續河南衣		実務経験	グラフィックデザイナー	

【授業のねらい】

意欲的に作品作りに取り組むことができ、作品の目的や意図を明確に持っていることをアピールできる。

ニーズを理解したデザインの力、活かし方を表現することができる。(デザイン思考/アート思考)

【授業の展開計画】

第1回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例15　③ デザインルール01
第2回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例16　③ デザインルール02
第3回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例17　③ デザインルール03
第4回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例18　③ デザインルール04
第5回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例19　③ デザインルール05
第6回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例20　③ デザインルール06
第7回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例21　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識01
第8回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例22　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識02
第9回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例23　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識03
第10回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例24　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識04
第11回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例25　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識05
第12回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例26　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識06
第13回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例27　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識07
第14回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例15　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識08
第15回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例28　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識09
第16回　① 課題（内容未定）　② ポートフォリオの実例29　③ 印刷 Web コンテンツ基礎知識10
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

採用担当者の心に響くポートフォリオアイデア帳

【参考文献・その他】

【科目コード：IT029】

科 目 名	知的財産管理				
対象学年	2	科目区分	一般教養	授業形態	講義
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	2
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

学生・社会人問わず必要となる知的財産管理の、初歩的な知識・技能を学習し
日常生活・業務において知的財産に関する対応の基礎をみにつける

【授業の展開計画】

第1回　知的財産とは
第2回　特許法の目的と保護対象
第3回　特許要件
第4回　特許出願後の手続き
第5回　特許権の管理と活用・特許権の侵害と救済
第6回　実用新案法・意匠法の保護対象と登録要件
第7回　意匠登録を受けるための手続き
第8回　意匠権の管理と活用・意匠権の侵害と救済
第9回　商標法の保護対象と登録要件・商標登録を受けるための手続き
第10回 商標権の管理と活用・商標権の侵害と救済
第11回 条約
第12回 著作権法の目的と著作物・著作者・著作者人格権
第13回 著作（財産）権・著作権の制限・著作隣接権
第14回 著作権の侵害と救済・不正競争防止法
第15回 民法・独占禁止法
第16回 種苗法・弁理士法
第17回 学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

知的財産管理技能検定 3 級公式テキスト[改訂 12 版]

【参考文献・その他】

【科目コード：IT030】

科 目 名	AI 活用				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

生成 AI とそのツールを利用しあらゆる課題においてスピード感を持って高品質な成果をえられるように、その手段を広く習得する。

【授業の展開計画】

第1回　　生成 AI 概要、活用事例
第2回　　生成 AI ツールの紹介と活用
第3～15回　クラスを複数グループに分け AI ツールを活用した課題解決に取り組み
第16回　　成果物をプレゼン
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT031】

科 目 名	Web アプリ開発 II				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	長田　一		実務経験	Web アプリケーション開発エンジニア	

【授業のねらい】

成果物のブラッシュアップと、これまで学習してきたスキルを生かした自由制作を行いポートフォリオを充実させます。

【授業の展開計画】

第1～2回　　ブレインストーミング、方針確認、チーム編成
第3～14回　開発
第15～16回　成果物発表
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

プリント配布

【参考文献・その他】

【科目コード：IT032】

科 目 名	プロジェクトマネジメント				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	講義
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	2
担当講師	翁長　武浩		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

プロジェクトマネジメントの手法について学習する。

【授業の展開計画】

第1回　　プロジェクトに関する基礎知識
第2回　　プロジェクトマネジメントの心得
第3回　　プロジェクトマネジメント活動
第4回　　デリバリー・パフォーマンス領域
第5回　　開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域
第6回　　計画・パフォーマンス領域
第7回　　プロジェクト作業・パフォーマンス領域
第8回　　測定・パフォーマンス領域
第9回　　ステークホルダー・パフォーマンス領域
第10回　　チーム・パフォーマンス領域
第11回　　不確かさ・パフォーマンス領域
第12回　　計画フェーズ
第13回　　要件定義フェーズ
第14回　　計画・開発フェーズ
第15回　　テスト・移行フェーズ
第16回　　運用・保守フェーズ
第17回　　学期末テスト（後期）

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

PMBOK 第 7 版対応版プロジェクトマネジメント標準「PMBOK 入門」

【参考文献・その他】

【科目コード：IT033】

科 目 名	IOT				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	講義
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	2
担当講師	翁長　武浩		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

IoT に関する基礎知識を学習する。

【授業の展開計画】

第1回　IoT の概要
第2回　クラウドコンピューティングとは
第3回　IoT システムのビジネス展開
第4回　IoT システムの全体像
第5回　第4次産業革命とは
第6回　シェアリングエコノミーとは
第7回　IoT デバイス概要
第8回　MEMS とは
第9回　IoT 応用システムとは
第10回　産業用ロボットとは
第11回　ドローンの現状
第12回　スマートデバイスとは
第13回　IoT 通信方式の概要
第14回　省エネ通信方式とは
第15回　IoT でデータを活用
第16回　IoT セキュリティ対策の概要
第17回　学期末テスト（後期）

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

IoT 技術テキスト 基礎編　改訂 3 版

【参考文献・その他】

【科目コード：IT034】

科 目 名	Java II				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	臼坂忠雄		実務経験	ソフトウェア エンジニア	

【授業のねらい】

中、大企業などの、業務システム開発として、成功している、分散型 JavaWeb システムの仕様を学ぶ

【授業の展開計画】

第1回　Spring Boot 3 インストール
第2回　プロジェクト作成、コントローラ、テンプレート
第3回　モデルとデータベース
第4回　Bean と DI 構成
第5回　SpringBoot プロジェクトのテスト
第6回　Rust 言語、インストール
第7回　変数、制御フロー、コレクション
第8回　関数、所有権、
第9回　構造体、トレイト、列挙型
第10回　エラー処理、リカバリ
第11回　マルチスレッド、非同期処理
第12回　ファイルアクセス、モジュール生成
第13回　Rust デスクトップアプリ1
第14回　Rust デスクトップアプリ2
第15回　Rust Web FW（axum）を利用した、chat アプリ開発1
第16回　Rust Web FW（axum）を利用した、chat アプリ開発2
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

新わかりやすい Java 入門編（第 3 版）
わかりやすい JakartaEE ウェブシステム入門

【参考文献・その他】

【科目コード：IT035】

科 目 名	プレゼンテーション演習Ⅱ				
対象学年	2	科目区分	専門基礎	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	51	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

卒業研究の発表会に向けて、発表スライドの作成と魅せる、伝わるプレゼンテーションを実践する。

【授業の展開計画】

第1回　　発表場面に応じたデザイン・レイアウトの構築
第2～5回　　スライド制作
第6回　　模擬プレゼン
第7回　　卒業研究発表に向けて、デザイン・レイアウトの構築
第8～14回　　スライド作成
第15回　　配布資料作成
第16回　　リハーサル
第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

ＰｏｗｅｒＰｏｉｎｔ2021　やさしい教科書　Ｏｆｆｉｃｅ2021／Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ365 対応

【参考文献・その他】

【科目コード：IT036】

科 目 名	卒業研究				
対象学年	2	科目区分	専門基礎	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	粟国　朝也		実務経験		

【授業のねらい】

2 年間で学習した内容を集約し、目的に応じた研究・資料作成を行うことを目標にする。

【授業の展開計画】

第1回　　卒業研究テーマを決める

第2～15回　　制作・資料作成

第16回　　研究発表会を想定してのリハーサル

第17回　　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。

出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

【参考文献・その他】

【科目コード：IT037】

科 目 名	Figma				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	後期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	末續河南衣		実務経験	グラフィックデザイナー	

【授業のねらい】

Figma の基本を知る事ができる。

【授業の展開計画】

第1回　① Figma について学ぶ
第2回　① Figma の基本操作を学ぶ01
第3回　① Figma の基本操作を学ぶ02
第4回　① Figma で共同作業を行う01
第5回　① Figma で共同作業を行う02
第6回　① Figma で使えるリソースを知る01
第7回　① Instagram 広告を作成する
第8回　① YouTube のサムネイルを作成する01
第9回　① YouTube のサムネイルを作成する02
第10回　① プレゼン資料を作成する01
第11回　① プレゼン資料を作成する02
第12回　① 名刺を作成する
第13回　① Web サイトのデザインを作成する01
第14回　① Web サイトのデザインを作成する02
第15回　① UI デザインを作成する01
第16回　① UI デザインを作成する02
第17回　学期末テスト

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

はじめてでも迷わない Figma のきほん

【参考文献・その他】

【科目コード：IT038】

科 目 名	AfterEffect				
対象学年	2	科目区分	専門	授業形態	実習
開講学期	前期	履修時間	34	単 位 数	1
担当講師	末續河南衣		実務経験	グラフィックデザイナー	

【授業のねらい】

After Effects の知識･操作が身に付けることができ、動画制作の基本が身に付くことができる。

【授業の展開計画】

第1回　① 動画について　② After Effects ダウンロード初期設定
第2回　① After Effects を使う前の準備
第3回　① 背景を作ろう
第4回　① タイトルを作ろう
第5回　① テロップを作ろう
第6回　① 場面転換を作ろう
第7回　① 立体的なアニメーションを作ろう
第8回　① 動画を書き出そう
第9回　① 課題（内容未定）
第10回　① 課題（内容未定）
第11回　① 課題（内容未定）
第12回　① 課題（内容未定）
第13回　① 課題（内容未定）
第14回　① 課題（内容未定）
第15回　① 課題（内容未定）
第16回　学期末テスト
第17回　① 課題（内容未定）

【履修上の注意事項】

出席率が 2／3 以下の者は不可とする。また遅刻 3 回で欠課 1 回とする。

【評価方法】

本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。
出席点（40 点満点）と試験点数（60 点満点）の合計点数により秀、優、良、可、不可の評価をする。

【テキスト】

これからはじめる After Effects の本

【参考文献・その他】